

## くろうよな

第8号

2024年12月25日

倉下文明 発行責任者

教 宣部

つくろう職場に労働運動を! ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に!



より

方、そう

もが年を重

ね

て!

て意列れす子いス

はい換後の をを開地 なる後の必災行読催区公の必災行きの必災行いのののでは、 自状路状性時ま合れ会月 日、線とこれにしたは、線と三次になる。 一や労縮て江はる地単小バ線る 域独しス廃鉄 て転止道 換料が田

に車つ

とは

も地山上者 2 き識車るる市るのイ域陰ににつまし利と高内と運

0

カは、これである。組んであるが、これである。

らも

たデ

時

 $\mathcal{O}$ 

ン車

マ列のら

ド時月要 バ刻か請

てのに向用

利スいで利イ

用にくす。性力で

あってで

 $\mathcal{O}$ 

、方か

4 D

治いいあ用合出少木しのが線 体うまるもに雲が次た現る廃全 の中しこ減向横進線。状中止国 出にたとりけ田み沿ごな、の各 状中止国討料会分かり、の各論のを会 とりけ田み沿ごな、の各論のを会が厳て駅、線多ど身話地を読開事 を会月 し所日

> さない 機 うんでい線 がなどを ر ک 利力関 用ル紙れい線 か

最からは、 るという はした。 まれのの本 はた。 まれのの本 は、 できれた。 線・ 1

世 ナ 持 て 国 ん 地 続 国 統 で 方 可 ヴ 方 可 労 との共をが下もいそ列スとまな とにるる用化切方用行 とこので 誰離利のは減よ 7 マがだ スイ出運 ま

来本能会闘 ま部性館争 し作の編

カル線

部性館争国作の編し労

子習会と米子はクの現状と持なっている。

守る全日

考で、りがに性売が、学ーれであるがに性売が、学ーれである。 をもれで、学ーれがない。 をもればない。 をもれがない。 をもれがない。 を生れがない。 を生れがない。 をものが代い要 じた。

問われる本気 月 度

職方式」 にしてき にしてき 1 という これが 1 の 採 た し 学 9 の採たし 

離資催連

るとの になり ま

陰でも、いくつかには は、イコカリンに は、イコカリンに は、イコカリンです。 に対する利便性の は、イコカリを がりを がりを がりを がりを がりたが、 がりを がりたが、 がりを がりたが、 がりたが、 がりたが、 がりたが、 がりたが、 がりたが、 がりたが、 がりたが、 きいか既の利 あ急てこNまる利他イ駅し行て使がるるにいれSしの便地ンにか根伯範こうに 中注なま等たで性域が設な根伯節になるになるではもないではない。 で、これではないではない。 ではないではないではないではないできる。 ではないではないではないではない。 で、これではないではないではない。 に注いなっています に注からの入込と合わせいまであまり分け、S に注からの入込と合わけ、S に注からの入込と合わけ、S に注からの入込とのがない。 取り分け、と合わはじめがない。 をはいることで、 をはじめい。 をはいることで、 をはじめい。 をはいることで、 をはいることで、 をはいることが、 をはいることが、 と言われています。 をはいまが、 と言われています。

こ進められ、3つめはずだと感じずいう意味 の魅力をもっと発信と表に出なかった。 っか等、提案も とで誘客に繋げ に出なかっと発信 に出なかった地 をもっと発信 がまれないかとい は、 ま L ŧ 利魔自 J スた。 Rとし 用しま体 必要 しに

と感じました。 と感じました。 本代に高速化事業というでは快速列車が次々とでは快速列車が次々とではは応えられていますが、今では快速列車が次々となが、多額の利活用者の関がようにもある利用者の関がようにもある利用者の関がようにもあるが、問われているが、と感じました。 高方じが管ぎ空状修 速、ま必理込港も繕 話かのに、利 要のま あがいが線出け される中、は 考え方もいた とれる中、は ŋ 追く非 で さる ŧ いつ常 あれべ らす。 ってい てきい 付かに して考本やいいの納 た。いえ気県まな思税 かあ悪 と今投 う時 か見線金道な る V1 6 ま

12月7日、島根原発2号機再 稼働に合わせて、山陰各地で「再 稼働の中止」を求めて抗議集会が 開催されました。

このうち市内の一部地域が災害 時に避難が必要な原発から30キ 口圏内を含む米子市では、 ネ推進 次世代に負の遺産を残す な」等のプラカードを掲げるなど して、原発の危険性を訴えてきま した。季節柄、寒風が吹きすさぶ 中でしたが、替え歌による「原発 再稼働反対ソング」なども飛びだ すなど、熱気を帯びた抗議集会と

なりました。

一感しのつ・現

2011年の「フクシマ原発事 故」では、約16万人が避難、未 だに2万6千人が帰還出来ていま せん。一旦原発事故が起きれば取 り返しがつかないのです。

